



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

平成29年3月31日

同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

平成29年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	ともざわ しんいち 友沢 晋一	(内線204)
副所長	(道路改築)	かだ あつみ 加田 厚	(内線205)
副所長	(道路管理)	ひの よしひろ 樋野 義周	(内線206)
担当)	計画課長	よしだ まさと 吉田 真人	(内線261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長		こばやし けんじ 小林 健二	(内線12)
担当)	工務課長	かねゆく ようじ 兼行 陽士	(内線15)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページアドレス

<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/index.html>

山口河川国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

平成29年度の予算概要

《平成29年度の主な事業概要》

○河川事業

- ・佐波川^{さばがわ}一般河川改修事業^{なみ}(奈美地区)は、平成29年度に堤防整備に伴う睦^{むつ}美橋^みの架替及び用地補償を実施します。
- ・佐波川^{さばがわ}総合水系環境整備事業^{しんばし}(新橋地区)は、平成29年度に法面整正、高水敷整正等を実施します。

○道路事業

- ・木与^{きよ}防災は、平成29年度に新規事業として、測量、道路設計に着手します。
- ・西深川^{にしふかわ}歩道整備は、平成29年度の完成に向け、歩道工事を推進します。
- ・山陽小野田^{さんようおのだ}電線共同溝事業は、平成30年度の電柱撤去に向け調査設計、支障移転補償、本体工事、引込管工事、連系管路工事、連系設備工事、路面復旧工事を推進します。

○港湾事業

- ・徳山下松港国際物流ターミナル整備事業は、徳山地区において航路(水深14m)、泊地(水深14m)の浚渫工事等を推進します。
- ・また、徳山下松港においては、下松地区棧橋(水深19m)、徳山地区岸壁(水深14m)、航路・泊地(水深14m)、新南陽地区岸壁(水深12m)の調査・設計等を推進します。
- ・岩国港臨港道路整備事業は、下部工事等を推進します。
- ・宇部港航路・泊地整備事業は、航路(水深13m)、航路・泊地(水深13m)の浚渫工事等を推進します。

《平成 29 年度の予算概要》

1. 配分方針

- (1) 平成29年度国土交通省関係予算については、水害・土砂災害や巨大地震等に備えるための防災・減災、老朽化対策、「成長と分配の好循環」による成長力の底上げと地方創生の実現など我が国が直面する課題に緊急に取り組むため、「被災地の復旧・復興」、「国民の安全・安心の確保」、「生産性向上による成長力の強化」及び「地域の活性化と豊かな暮らしの実現」の4分野に重点化するための経費並びに公共工事の施工時期の平準化等のための国庫債務負担行為を計上したところです。
- (2) また、今後の社会資本整備に当たっては、特に、生産性向上を導く社会資本のストック効果を重視することにより、我が国の経済成長を支えていくことが重要です。このため、国土交通省では、平成29年を生産性革命「前進の年」とし、これまでに選定された20の「生産性革命プロジェクト」の更なる具体化を進めるとともに、その基礎にある「生産性革命」の考え方を施策全般に組み込んでいくこととしています。
- (3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、

- ・水防災意識社会の再構築に向けた水害対策や土砂・火山災害対策の推進
- ・インフラ老朽化に対応する戦略的な維持管理・更新の推進
- ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
- ・効率的な物流ネットワークの強化
- ・首都圏空港、国際コンテナ戦略港湾の機能強化
- ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援（社会資本整備総合交付金）
- ・ストレスなく快適な旅行環境の整備
- ・人口減少等を見据えた「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成
- ・子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らせる住まいの確保

などについて、地域の実情や要望、社会資本のストック効果等を勘案し、配分を行います。

また、山口河川国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は、以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくり「元気創出やまぐち！みらい開拓チャレンジプラン」を積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要

1)山口河川国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成29年度	平成28年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	326	353	0.92
総合水系環境整備事業	28	44	0.64
小計	354	397	0.89
道路関係			
改築	11,086	11,430	0.97
交通安全(I種事業)	1,356	1,047	1.30
電線共同溝	1,238	1,015	1.22
小計	13,680	13,492	1.01
事務所計	14,034	13,889	1.01

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない

維持管理に関する予算は含まれていない。

2)宇部港湾・空港整備事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	平成29年度	平成28年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	3,618	3,800	0.95
【重要港湾】			
岩国港	600	620	0.97
宇部港	1,850	2,131	0.87
【地方港湾】			
油谷港	51	51	1.00
事務所計	6,119	6,602	0.93

注. 下関市域分は含まれていない。

事業費はいずれも年度当初予算である。

3. 主要な施策、事業

1) 主要な施策、事業の概要

河川事業

事業名	平成 29 年度の概要	備考
佐波川一般河川改修事業 (奈美地区)	堤防整備に伴う睦美橋の架替及び用地補償を実施します。	資料- 1
佐波川総合水系環境整備事業 (新橋地区)	法面整正、高水敷整正等を実施します。	資料- 2

道路事業

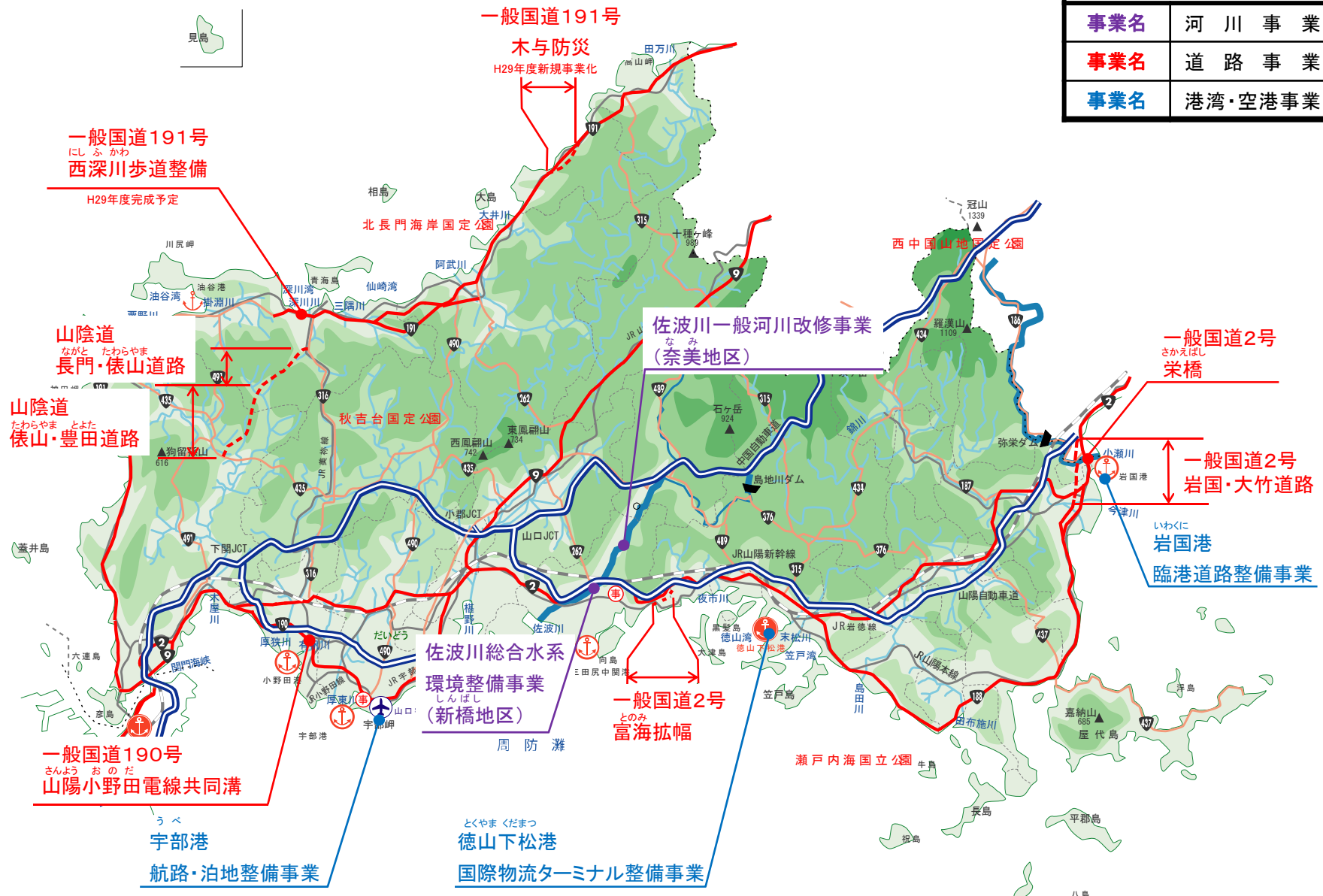
事業名	平成 29 年度の概要	備考
一般国道2号 岩国・大竹道路	調査設計を推進します。	資料- 3
一般国道2号 富海拡幅	調査設計及び橋梁工事、改良工事を推進します。	資料- 4
山陰道 長門・俵山道路、俵山・豊田道路	道路設計、地質調査、環境調査、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を推進します。 うち、長門・俵山道路は平成31年度の完成に向け工事等を推進します。	資料- 5
一般国道2号 栄橋	平成28年度に供用し、引き続き迂回路橋撤去工事等を推進します。	資料- 6
一般国道191号 木与防災	平成29年度に新規事業として、測量、道路設計に着手します。	資料- 7
山口191号交差点改良等 (西深川歩道整備)	平成29年度の完成に向け、歩道工事を推進します。	資料- 8
山口190号電線共同溝 (山陽小野田電線共同溝)	平成30年度の電柱撤去に向け調査設計、支障移転補償、本体工事、引込管工事、連系管路工事、連系設備工事、路面復旧工事を推進します。	資料- 9
トラック・バス渋滞ポイントにおける対策	山口県内では国道2号長府駅前交差点において渋滞対策を実施します。	資料- 10

港湾事業

事業名	平成 29 年度の概要	備考
国際拠点港湾 徳山下松港(徳山地区) 国際物流ターミナル整備事業	浚渫工事等を推進します。	資料- 11
国際拠点港湾 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	調査・設計等を推進します。	資料- 12
重要港湾 岩国港臨港道路整備事業	下部工事等を推進します。	資料- 13
重要港湾 宇部港航路・泊地整備事業	浚渫工事等を推進します。	資料- 14

主要事業箇所【山口県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業



さばがわ
佐波川一般河川改修事業
なみ
(奈美地区)

事業費326百万円

資料-1

※佐波川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

ほうふ なみ

防府市奈美地区は、堤防のない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月洪水や平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

このため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組の一環として、堤防整備を実施し、早期に治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

ほうふ すずや

山口県防府市大字鈴屋地先

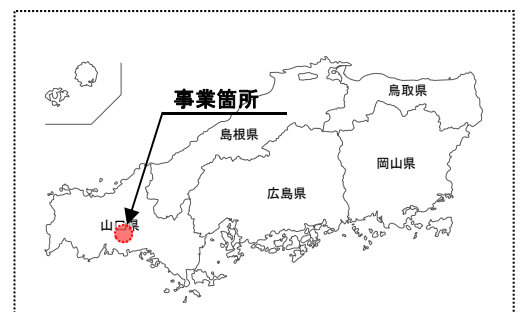
3. 平成29年度 予定事業内容

なみ

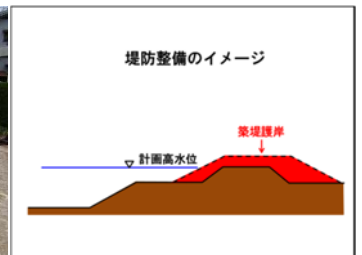
佐波川奈美地区において、

むつみ

堤防整備に伴う睦美橋の架替及び用地補償を実施します。



<H21.7月洪水浸水状況>



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合においても、家屋の浸水被害の防止が図られます。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

防府市では、佐波川の豊かな自然と千年のときを越えて息づく歴史と文化等の市固有のすばらしい資源や魅力を再認識し、守り育てていくことを目指しています。その佐波川の中でも中心的な位置にある新橋地区は、防府天満宮等の歴史的な文化施設が集中し、多くの観光客で賑わう地域です。

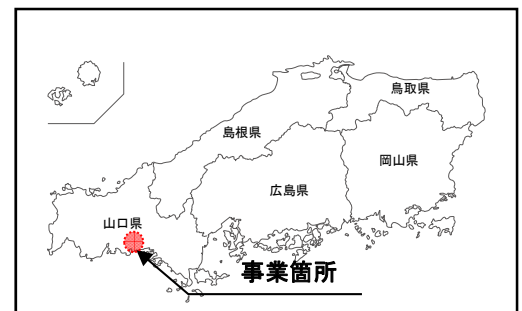
本事業では、市によるまちづくりと連携して管理用通路整備等を行うことで水辺・水面利用時の安全性と周遊性を高め、観光地としての魅力の向上に繋がります。

2. 事業箇所

山口県防府市新橋町地先 外

3. 平成29年度 予定事業内容

新橋箇所において、
法面整正、高水敷整正等を実施します。

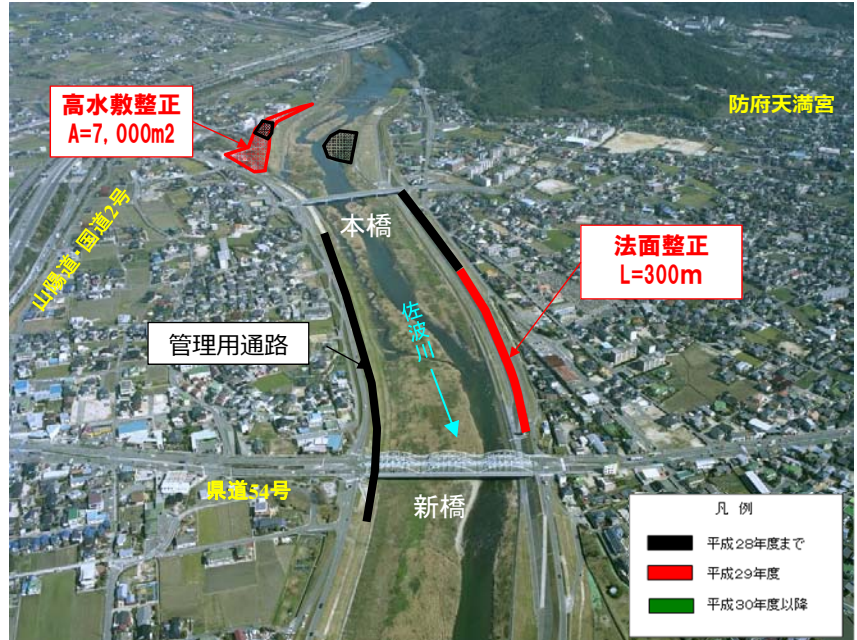


利用状況

高水敷整正及び管理用通路等の整備により、河川内の散策、また市街地との周遊性の向上が期待できる。



利用状況



4. 期待される整備効果

防府市の賑わいの創出や川に親しむ機会の創出が期待されます。

また、佐波川とその周辺地域の自然環境、豊富な歴史や文化資産等を繋ぐ場として、防府市民や他の地域から訪れる方にも活用されることが期待されます。

一般国道2号 岩国・大竹道路

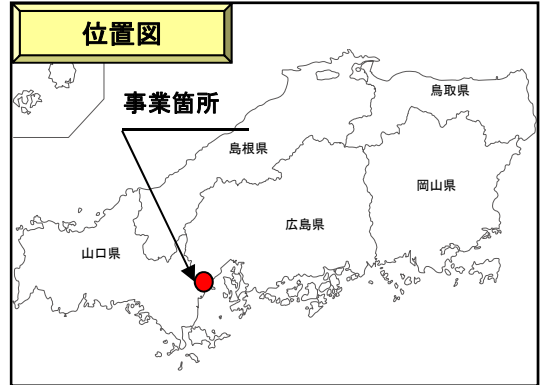
事業費1,769百万円
(広島県1,439百万円 山口県330百万円)

資料-3

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

一般国道2号岩国・大竹道路は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県の広域的な連携・交流を目的とした、広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町に至る延長9.8kmの道路です。

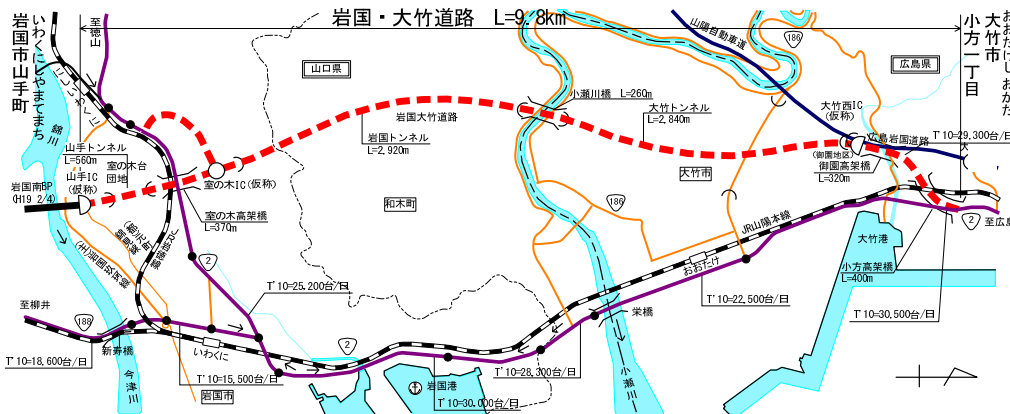


2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目から山口県岩国市山手町

3. 平成29年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



信号交差点が連続する大竹市街の道路状況

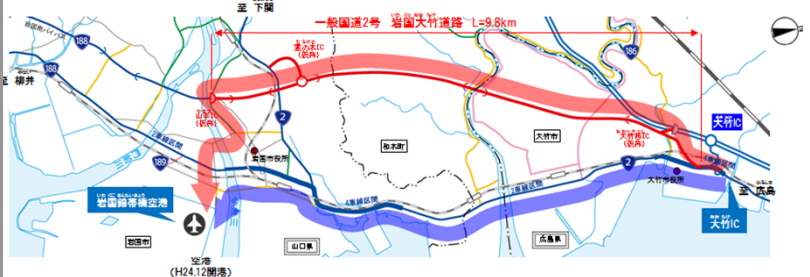


岩国新港地区(渋滞状況)

期待される整備効果

●所要時間の短縮

広島方面から岩国錦帯橋空港への**定時性および利便性の向上**が期待されます。



※現況所要時間は民間プローブデータ(H25.4~H25.8平日)
整備後所要時間は岩国・大竹道路V=70km/h(起点~室の木IC)、60km/h(室の木IC~山手IC)、H22道路交通センサス旅行速度で設定。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

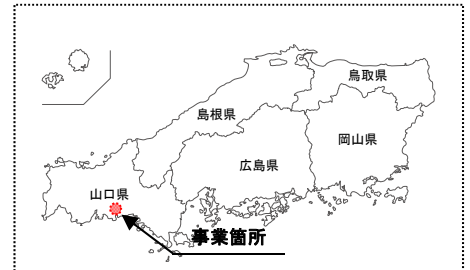
富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和を図るとともに交通事故の削減、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県周南市戸田～防府市富海

3. 平成29年度予定事業内容

調査設計及び橋梁工事、改良工事を推進します。



現況状況



写真①防府市富海地区(渋滞状況)

現況状況



写真②防府市富海地区(事故発生状況)



4. 期待される整備効果

産業活動の活性化

- 防府市の工場集積地域内ではH27年8月に工業団地の造成が完了しており、今後新たな事業所の進出や雇用の創出が見込まれています。
- 富海拡幅の4車線化による利便性向上により、生産性の高い物流ネットワークを構築し周辺地域をはじめとする産業活動の活性化、効率化が期待できます。

富海拡幅を利用する商用車の流動状況



山陰道 長門・俵山道路、俵山・豊田道路

事業費8,293百万円

資料-5

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 長門・俵山道路、俵山・豊田道路は、一般国道491号や主要地方道 下関長門線等の事前通行規制区間等の回避、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善を目的とした、長門・俵山道路5.5km、俵山・豊田道路13.9kmの自動車専用道路です。

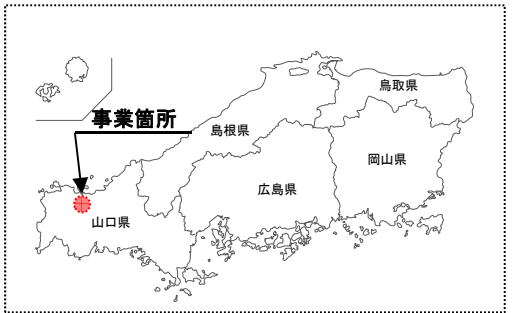
2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～長門市深川湯本

3. 平成29年度 予定事業内容

道路設計、地質調査、環境調査、改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進します。

うち、長門・俵山道路は平成31年度の開通に向け工事を推進します。



写真① 事業進捗状況 (長門市深川湯本(赤ノ谷)から長門市街方面を望む)



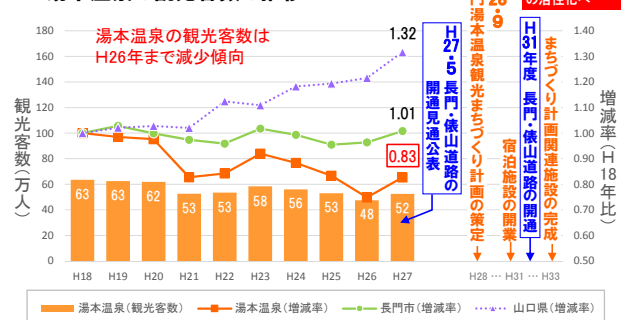
写真② 事業進捗状況 (長門市街方面から下関方面を望む)



4. 期待される整備効果

- ・長門市は、H28年9月に「長門湯本温泉観光まちづくり計画」を策定し、H43年までに宿泊人数33万人へ引き上げる目標設定を行っています。
- ・湯本温泉は九州からの来泊が多く、長門・俵山道路および山陰道の整備によって観光客の増加が期待されます。

▼湯本温泉の観光客数の推移



H28供用

1. 事業の必要性及び概要

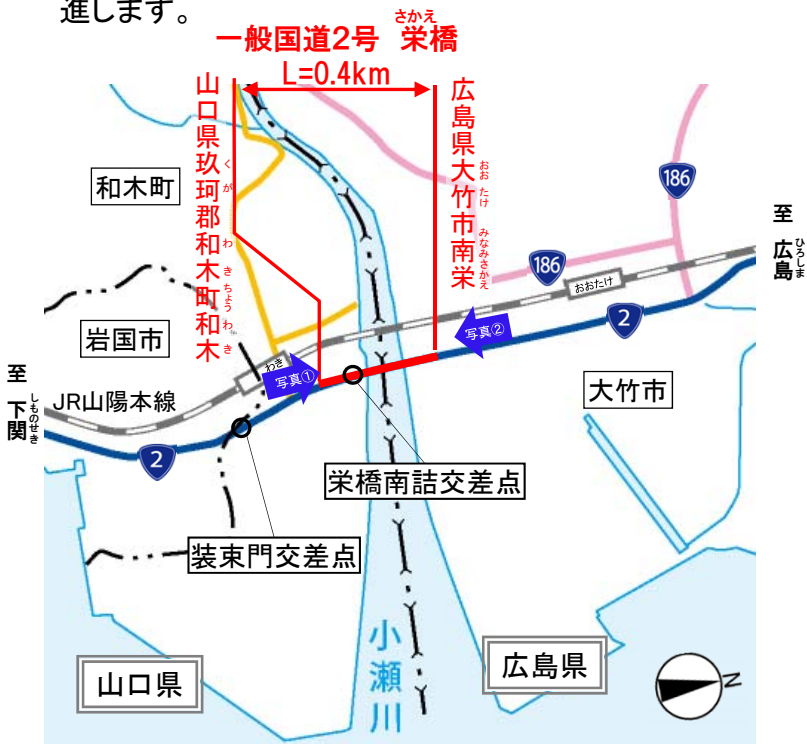
^{さかえ} 栄橋は、^{ひろしま} 広島県及び^{やまぐち} 山口県の県境に位置する老朽化した橋梁の架け替えを目的とした延長0.4kmの橋梁架け替え事業です。

2. 事業箇所

^{おおたけ} 広島県大竹市南栄二丁目～^{くが} 山口県玖珂郡和木町和木五丁目

3. 平成29年度 予定事業内容

平成28年度に供用し、引き続き迂回路橋撤去工事等を推進します。



【写真①】施工状況(山口県側から広島県側を望む)



【写真②】栄橋 完成イメージ

4. 期待される整備効果

- 大規模地震等災害に対する安全性・信頼性の確保
- 歩道幅員増による安全で快適な歩行空間の確保



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】橋本体のひび割れ



【損傷状況】コンクリート落下

新規事業化

1. 事業の必要性及び概要

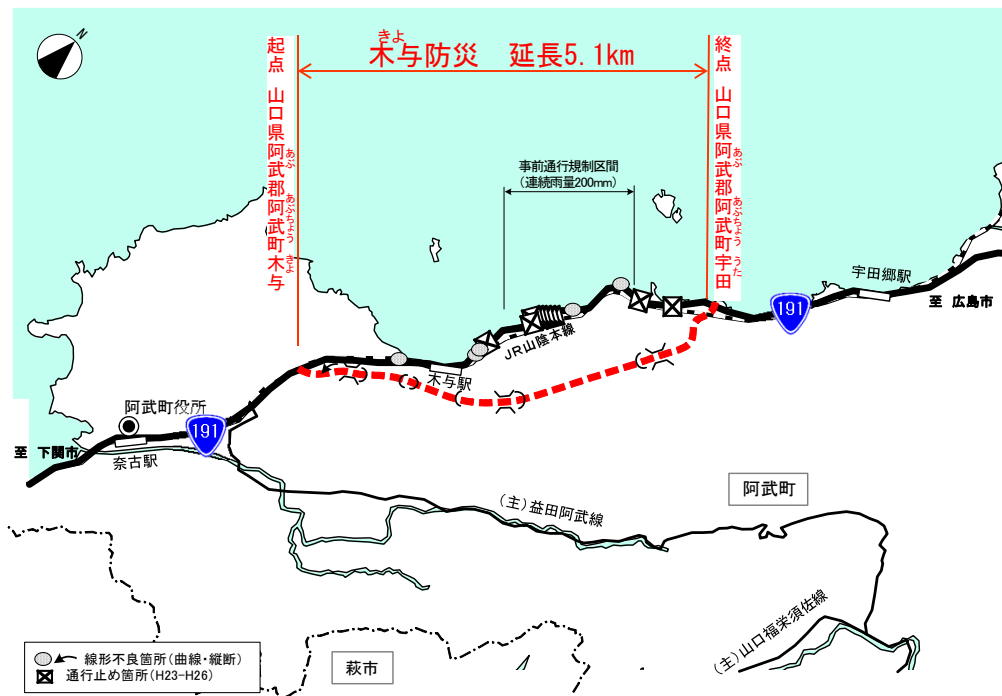
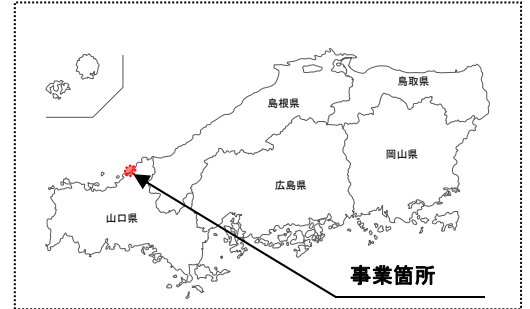
木与防災は、国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした延長5.1kmの道路です。

2. 事業箇所

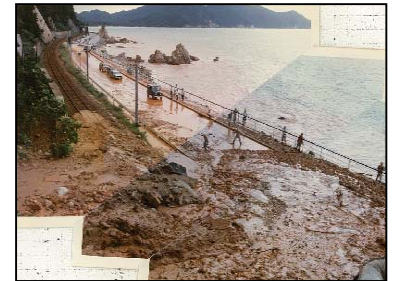
山口県阿武郡阿武町木与～阿武郡阿武町宇田

3. 平成29年度 予定事業内容

測量、道路設計に着手します。



【写真①H23年土砂崩壊の状況】



【写真②S55年土砂崩壊の状況】

4. 期待される整備効果

■地域の安心安全を確保

○国道191号の事前通行規制区間を回避することにより、災害時の代替路確保し、地域の安全安心を確保します。

■産業を活性化

○木与防災を整備することにより、定時性、確実性が確保でき、物流活動を支援します。

発生年度	件数	概要	全面通行止め時間
H21	1	事前通行規制	47時間(2.0日)
H22	1	土砂流出	153時間(6.4日)
H23	3	事前通行規制	187時間(7.8日)
H24	1	事前通行規制	9時間(0.4日)
H25	2	事前通行規制	35時間(1.5日)
H26	1	事前通行規制	16時間(0.7日)
合計	9	-	約447時間(約19日)

表1 国道191号木与地区の災害等による通行止め履歴(H18～H27)

開通予定

1. 事業の必要性及び概要

当該箇所は、一般国道191号の長門市の中心に位置し、近傍に深川中学校が立地し、通学路に指定されており、歩行者や自転車の通学通勤及び沿線住民の生活道路としても利用されている箇所である。しかし、一部区間で歩道が整備されておらず、また、勾配が波打った形状の歩道となっており、安全性が確保されていません。

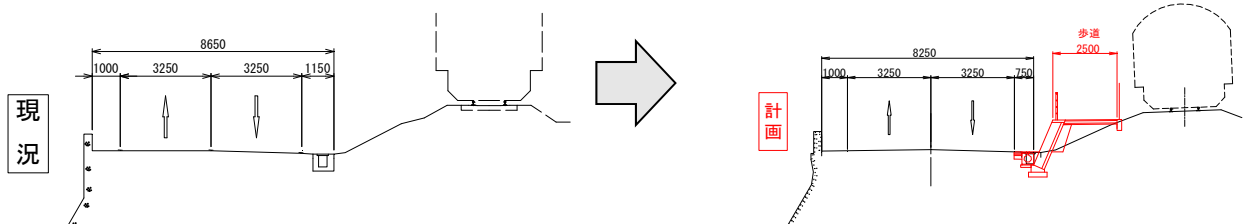
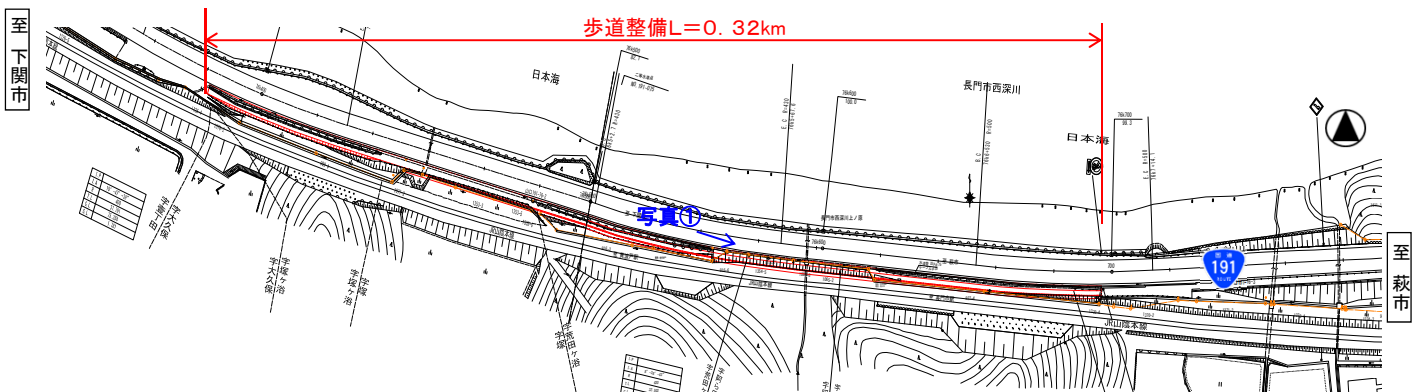
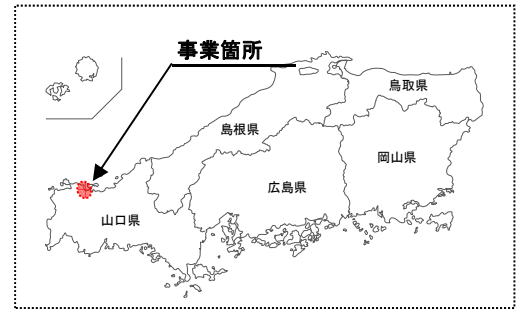
このため、歩行者が安全・安心に通行できる歩道の整備を行います。

2. 事業箇所

ながと にしふかわ
山口県長門市西深川

3. 平成29年度 予定事業内容

平成29年度の完成に向け、歩道工事を推進します。



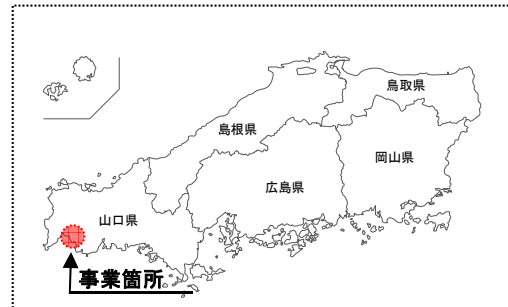
事業推進

1. 事業の必要性及び概要

さんようおのだ
山陽小野田電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

やまぐちさんようおのだにしたかどまり
山口県山陽小野田市西高泊地内



3. 平成29年度予定事業内容

平成30年度の電柱撤去に向け、調査設計、支障移転補償、本体工事、引込管工事、連系管路工事、連系設備工事、路面復旧工事を推進します。

《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



<電柱の倒壊による道路閉塞の事例>



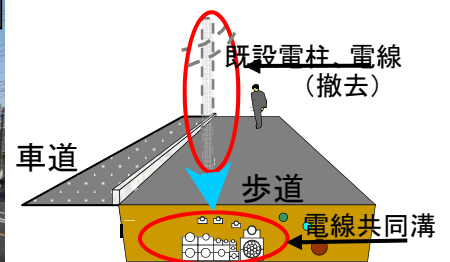
<歩行の支障となる電柱の事例>



《現地状況》



《イメージ図》



4. 期待される整備効果

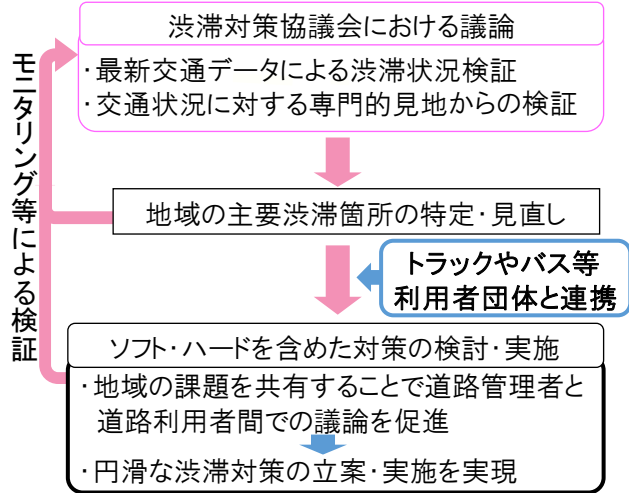
・道路上から電柱や電線がなくなることにより、安全で快適な歩行空間の確保が図られ、震災時の電柱倒壊による通行止めの心配がなくなるため道路の防災性が向上します。また、電線がなくなることにより、良好な都市景観の向上が期待されます。

1. 事業の概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、即効性のある渋滞対策を実施します。

渋滞対策の推進体制



2. 主な事業箇所・事業内容

みぞかわ
国道9号溝川交差点
(鳥取県 鳥取市)



<<左折レーンの増設を予定>>

あだかえひがし
国道9号出雲郷東交差点
(島根県 松江市)



<<直進左折レーンの増設を予定>>

つしまきょうまち
国道53号津島京町交差点
(岡山県 岡山市)



<<右折レーンの増設を予定>>

さきおぐら
国道185号先小倉交差点
(広島県 呉市)



<<右折レーン・左折レーンの増設を予定>>

ちょうふえきまえ
国道2号長府駅前交差点
(山口県 下関市)



<<右折レーンの増設を予定>>

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

近年、背後企業の生産設備、発電設備等の増強に伴い、発電用燃料の石炭輸入が増加しているものの、船舶の大型化に対応した航路・泊地の水深が不足していることから、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、徳山地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

しゅうなん

山口県周南市

3. 平成29年度 予定事業内容

航路(水深14m)、泊地(水深14m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

徳山下松港は背後に基礎素材型産業が集積しており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に宇部港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

石炭を海外から直接輸入する企業は独自に石炭を調達しているところであるが、各社が利用するそれぞれの既存ターミナルは、大型石炭運搬船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送が行われている状況にあり、大型石炭運搬船による効率的な輸送体制の確立が課題となっています。

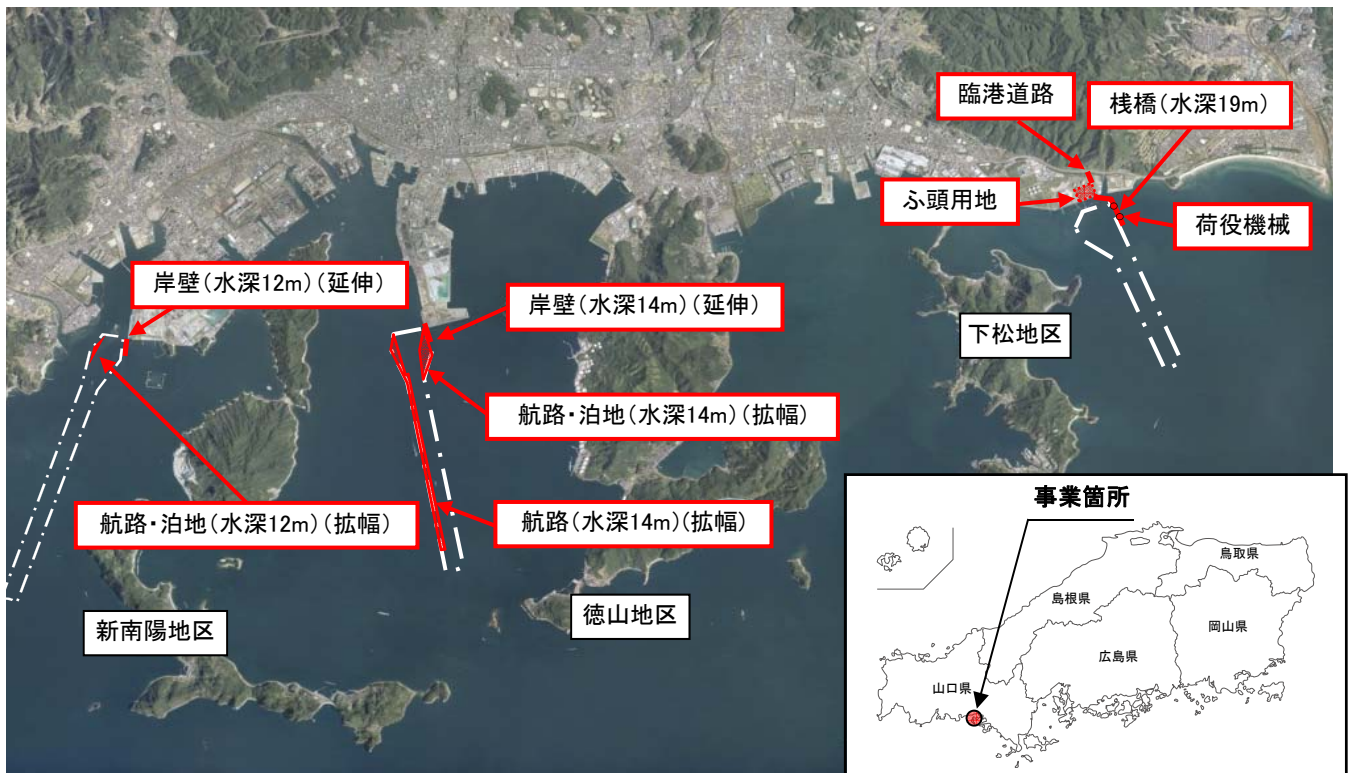
このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、国際物流ターミナルの整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県^{しゅうなん くだまつ}周南市、下松市

3. 平成29年度 予定事業内容

栈橋(水深19m)、岸壁(水深14m)、航路・泊地(水深14m)、岸壁(水深12m)の整備に必要な調査・設計等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、石炭等のバルク貨物の安定的かつ低廉な輸送が確保されることにより、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として 地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、同港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、同港背後企業から発生する港湾関連車両は、慢性的に混雑している国道2号を利用せざるを得ず、非効率な輸送形態となっています。また、室の木地区から発生する港湾関連車両は、生活道路を通行せざるを得ないことから、周辺的生活環境の改善が課題となっています。

このため、港湾貨物の輸送円滑化を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県 いわくに 岩国市

3. 平成29年度 予定事業内容

臨港道路の下部工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業より、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化を通じて、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、生活道路を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、生活環境の改善に資することが期待されます。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾(石炭)に徳山下松港とともに選定される等、更なる発展が期待されています。

しかし、航路が水深11mでの暫定供用となっているため、大型貨物船が満載で入港できず、効率的な輸送への対応が課題となっています。

このため、大型貨物船による効率的な輸送に対応するため、水深13mの航路整備を推進します。

2. 事業箇所

山口県^{うべ}宇部市

3. 平成29年度 予定事業内容

航路(水深13m)、航路・泊地(水深13m)の浚渫工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、大型貨物船の満載による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減され、基礎素材型産業の国際競争力強化を通じ、日本経済の発展、雇用の確保等に寄与します